

としまち研会報 第105号

おいらのまち

発行 NPO 都市住宅とまちづくり研究会 理事会

東松島市のおおい地区は「オーダーメイドのまちづくり」

おいらのまち前号発行後、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が出され、2ヶ月近く経った5月26日には解除となりましたが、以前の日常生活が戻った状態ではありません。

緊急事態宣言の真ただ中の4月29日に、BSキャンパス（放送大学）の災害社会学・コミュニティ論という講座で、関西学院大学の金菱清教授が、東日本大震災の災害復興に関連して2つの地区を取り上げ、その後半が東松島市のおおい地区の防災集団移転の話でした。

金菱教授は、復興のまちづくりには「オーダーメイドのまちづくり」と「レディメイドのまちづくり」があり、行政主体で進めるとハード面での対策に集中することになり、被災者の宅地の位置や復興公営住宅の位置決めも「平等」ということで、「公平な抽選方式」になるなど、「レディメイドのまちづくり」になりやすいとの指摘をされました。

それに対して、おおい地区では「オーダーメイドのまちづくり」が行われたとして、仙石線：東矢本駅の北側一帯の22haに580世帯・1,800人が集団移転をめざす取り組みが紹介されました。

としまち研は、縁あって2011年11月17日に東松島市役所の復興対策本部を訪問以来、調査団派遣、2012年1月5日の東松島市復興業務支援に関する協定書締結にはじまり、被災者の個別面談、おおい地区のまちづくり整備協議会設立、協議会の事務局として被災者の皆さんの自主的な各種活動支援～宅地・公共施設案の取りまとめ、個別に家を建てる世帯の区画決め、街並みルールの作成、災害公営住宅の住戸位置決め、「新しいまち」の名称決め、会員同士の交流、まちづくり通信の編集・発行等々～をし、協定書締結から3年3ヶ月、全力で頑張った「オーダーメイドのまちづくり」でした。

「三密」自粛の下では、写真のようなワークショップはできませんが、オンラインミーティングも含めて、新たな活動をめざしましょう。



▲大曲浜地区懇談会でのワークショップ
気軽に意見の出しあえる雰囲気(2012年)

(としまち研理事長 杉山 昇)

おおい地区における住民主体の復興まちづくりの過程を記録した
『「日本一住みやすいまち」をめざして～東日本大震災からの復興～』
Amazon（以下URL）でも販売中です！

<https://www.amazon.jp/dp/4991036100>

試し読みをしてみたい方はとしまち研事務局までお問い合わせください。



※今号は『おいらのひとりごと』（としまち研会員によるリレー形式のエッセイ）をお休みします。
次号をお楽しみに。

一木会のご案内（原則、毎月第一木曜日に行う勉強会・交流会です）

去る3月5日（木）に予定しておりました一木会を、新型コロナウイルス感染のリスクが増えてきたなかで中止とさせていただきます。先日、緊急事態宣言が解除されたこともあり、そろそろ様子を見ながら慎重に再開することにいたしました。

参加をご希望の方は、オンライン（ZOOM）のアクセス方法をご案内しますので、お手数ですが、前日までにお申し込みをお願いします。

☆6月（6月11日・第二木曜）【第295回一木会】

テーマ：「JR 神田駅高架下で創業60年、

地域に愛され続ける『神田珈琲園』の再生」

ゲスト：八戸 建 氏（三友食品有限会社 代表取締役、神田珈琲園オーナー）



▲新築中の神田珈琲園
まもなく竣工です

としまち研第20回通常総会を会場＋オンラインで開催しました

5月28日（木）18:30～、としまち研の第20回通常総会を開催しました。今回は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、実際に会場にお越しいただくのは少人数に限定し、会員の皆さまにはオンライン会議システム（zoom）を活用してご参加いただきました。

オンラインの嬉しい効用で、仙台にお住まいの宮本愛さんも参加してくださいました。ほかの方も、ふだんはあまり見られないご自宅やご家族との様子なども拝見でき、和やかな会となりました。

一方、本題の議案の方は、各部長や事務局より、新規のプロジェクトの立ち上げが難しく、財政面もきびしい状況が続いている旨報告されました。今年度の活動についても、3月より理事会や部会などがともに開催できていない状況ではありますが、取り組みの方法や体制については柔軟に新しい手法も取り入れながら検討していくこと、継続中のプロジェクトについては引き続き住民や地権者の方々に寄り添って目標に向けて着実に推進していくことが共有されました。

一通り議題が終了した後は、参加者の皆さまより、コロナ禍におけるご自身の近況や、としまち研の今後についての意見や提案などを、恒例の1分間スピーチスタイルで発表していただきました。欠席の方からいただいたメッセージも事務局より報告させていただきました。

今年はとしまち研設立20周年という大きな節目です。この間の時代の大きな変容や多様化の真っ只中に、さらにこの度のコロナ禍が加わり、今後の社会の動向はますます想像しづらい状況ですが、会員及びとしまち研を応援して下さる皆さまにご協力いただき、力を合わせて「明るく・笑顔で・前向きに」取り組んでいきたいと思っております。

今年度もご支援の程どうぞよろしくお願ひいたします。

（としまち研事務局 関 真弓）

□ 編集後記

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、私も妻も4月から5月末までの約2ヶ月は基本的にテレワーク体制での在宅業務でした。子どもたちの小学校、保育所もお休みになり、家族4人で騒がしい毎日でした。「テレワークでも十分仕事になった！」という声も聞こえてきますが、夫婦で交互に子どもの面倒を見ながらのため、1日の半分は子守で仕事が全く捗らずでした。6月から徐々にいつもの日常が戻りつつありますが、満員電車で揺られながら感染拡大の第二波を心配しています。皆様も油断せずに、「うがい、手洗い、三密回避」で引き続き頑張りましょう。（総務広報部会長 五十嵐一博）

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 33 COMS HOUSE 2階
TEL: 03-5207-6277 FAX: 03-5294-7326
E-mail info@tmk-web.com ホムパージュ http://www.tmk-web.com/
Facebook https://www.facebook.com/toshimachiken/
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研の現在の会員数
正会員 58人 賛助会員 30人
編集発行人 五十嵐 一博
事務局担当 関 真弓

